

2019年4月から一般社団法人として新たな歩みを始めます

# JSSMのご紹介



一般社団法人

日本セキュリティ・マネジメント学会

June / 2019

# 会長ご挨拶

- 本学会は、学際と業際の両面からセキュリティ・マネジメントの研究を加速し、情報セキュリティ総合科学として発展させ、その研究成果を社会の発展に生かして行くことを使命としています。
- セキュリティマネジメントを総合科学として発展させるためには、理論と実務を統合したアプローチが不可欠です。
- 学術研究者による基礎研究や応用研究の成果を、実務家が直面している現実の課題に取り入れて新たなマネジメントプロセスを創出する、あるいは現場の経験から新たな学術研究の切り口やデータを提供するなどの場を提供します。
- 研究者や実務家の皆様の参画を期待しています。



代表理事・会長  
大木 榮二郎

# Agenda

1. 日本セキュリティ・マネジメント学会とは
2. 学会役員紹介
3. 高まるセキュリティ・マネジメント高度化の要請
4. 学際的な取り組みの重要性
5. 学会の役割と使命
6. 学会の目的と事業
7. 主な研究分野
8. 主な事業と研究会
9. 会員の特典及び入会の勧め
10. 会員資格
11. 入会手続き

# 1. 日本セキュリティ・マネジメント学会とは

- 1986年5月設立
- セキュリティ全般に関する学際的、業際的な調査研究を実施し、より健全な高度情報社会の構築に貢献することを目的とする
- セキュリティに関連する分野の諸問題について、大会、講演会、学会誌、機関紙および研究会活動を通じ、理論的かつ実践的な検討を行ってまいりました。
- キャッチフレーズ「法・経営・技術・倫理の融合する情報セキュリティ総合科学の創造・発展」

## 2. 学会役員紹介





### 3. 高まるセキュリティ・マネジメント高度化の要請

- 情報社会の高度化に向けて、セキュリティ・マネジメントにおいても理論と実践面の両面からの成熟が求められている
- 政府は、サイバーセキュリティ戦略を掲げ、
  - 「サイバーセキュリティ戦略本部」と「情報セキュリティ政策会議」を設置
  - 「内閣サイバーセキュリティセンター」を強化し6グループ編成で活動公的部門での情報セキュリティの確保を精力的に進めている
- 民間企業もまた、
  - 個人情報漏洩事件の頻発や個人情報保護法の改正等、
  - サイバー攻撃の被害拡大や、サイバーセキュリティ経営の推進、などにより情報セキュリティ対策に本格的に取り組んでいます。  
経営者にもこれからの時代、情報セキュリティ・マネジメントなくして事業の発展は難しいことが理解されてきたといえるでしょう。
- しかし、このような政府や企業の取り組みが具体的な成果をあげるには、まだ学問的に解明しなければならない研究課題は数多く残されています。

## 4. 学際的な取り組みの重要性

- セキュリティ・マネジメントの高度化には、工学、理学、法学、社会学、経営学、倫理学、などさまざまな学問分野にまたがる数多くの研究課題を学際的に解決していかなければなりません。企業や団体が抱える情報セキュリティ・マネジメントの各種課題を解明しその解決策を提供する応用研究の更なる発展には、その基礎となる学問分野の理論研究の進展がなければなりません。
- 学際的な取り組みを強化するには、その中核となり幅広い分野に影響を与えるセキュリティ・マネジメントの統一的な基礎理論を打ち立てることが今求められているといえるでしょう。この基礎理論は、各学問分野に明確な研究課題を投げかけることとなり、関連する学問分野の先端的研究との相互作用でまさにセキュリティ・マネジメントの理論研究、応用研究が学際的に発展していくことになるでしょう。

## 5. 学会の役割と使命

- 日本セキュリティ・マネジメント学会の使命は、学際と業際の両面からセキュリティ・マネジメントの研究を加速し、その研究成果を Society5.0 と呼ばれるこれからの社会の発展に生かして行くことに他なりません。

- 学際面の中心たる統一基礎理論への求心力と、業際面の核となる使命感の共有とを機軸に、多彩な研究者、実務家が集い、互いの専門性を尊重しつつ、刺激しあい、新たな理論や方法論を発展させる場として、社会に貢献して行くものであります。





## 6. 学会の目的と事業

日本セキュリティ・マネジメント学会定款(抄)

### (目的)

本会は、セキュリティ全般に関する研究及び調査の実施並びに学際的、業際的な研究者相互の協力を促進し、もってより高度に発展する健全な情報社会の構築に貢献することを目的とする。

### (事業)

本会は、前条の目的を達成するために、次に掲げる事業を行う。

- (1)セキュリティ・マネジメントに関する研究及び調査
- (2)学際的、業際的な交流と合同の研究
- (3)学術講演会、研究発表会並びに研究会等の主催及び後援
- (4)機関誌その他図書の刊行
- (5)国内及び国外の関連学協会等との連絡及び協力
- (6)その他、目的を達成するため必要な事業

## 7. 主な研究分野

### セキュリティ・マネジメント施策研究

- ①ISMS(情報セキュリティ管理システム)
- ②リスクマネジメント、リスクコミュニケーション
- ③物理的セキュリティ対策
- ④セキュリティポリシー及び人的管理
- ⑤システム監査、情報セキュリティ監査
- ⑥個人情報保護施策  
など

### セキュリティ関連制度研究

- ①プライバシー及び個人情報保護に関する法制度
- ②ソフトウェア著作権保護の法制度
- ③コンピュータ犯罪・悪用に対する法制度
- ④情報及び情報セキュリティ保険制度  
など

### セキュリティ技術研究

- ①インターネット
- ②オープンシステム
- ③アクセス制御
- ④暗号・認証  
など

### 企業活動におけるリスク対応の研究

- ①業務継続計画及び危機対応計画
- ②セキュリティ評価基準とリスク分析
- ③製造物責任リスク
- ④環境リスク  
など

# 8-1. 主な事業と研究会

## 主な事業

### (1) 研究会の開催

- 個人情報保護研究会
- 先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会
- 環境マネジメント研究会
- 関西支部研究会
- セキュリティ法制研究会
- IT統制研究会
- ITリスク学研究会
- 情報セキュリティ会計研究会

### (2) 学会機関誌、その他図書の刊行

### (3) 学術講演会、研究発表会等の主催および後援

### (4) 学際的フォーラム等の主催及び後援

### (5) その他、本学会目的を達成するために必要な事業

## 研究会参加要領

- 参加申込や照会は学会Web(<http://www.jssm.net>)に記載の各研究会の「幹事」宛に電子メール等をお願い致します。
- 研究会の運営費用は学会予算から手当されておりますので、個別の参加費は原則としてかかりません。
- 各研究会の開催日は原則として重複しませんので、複数の研究会に参加頂けます。
- 研究会では、学会員による調査研究や外部の専門家のレクチャー等に基づき、参加者による討論を行って理解を深め、各位に役立つよう運営いたします。一流の講演会レベルから皆様のお知恵拝借レベルまで、多彩な研究内容となります。
- 正会員・学生会員はもとより、賛助会員の会社・団体の方はどなたでも各研究会に随時・随意に参加できます。ただし、資料準備の都合上、出欠の確認をさせて頂く場合があります。
- 研究会参加の会員は、研究論文の発表および論文の学会誌掲載に当たり優先度が上がります。学会誌掲載論文が本人の学術上の業績となるのはご承知の通りです。

## 8-2. 個人情報保護研究会

### ・活動概要

当研究会は、情報セキュリティマネジメントの重要課題である個人情報の保護に関する研究をすすめるものとして活動しています。『研究会活動の三つの視点』を明確化してこれを基軸に研究会をすすめています。三つの視点は次のとおりです。

- (1)テクノロジー(Technology)
- (2)ビジネスモデル(Business Model)
- (3)社会システム(Social System)

現在は有志中心で活動していますが、新規メンバーは随時募集中。拡大研究会、合同研究会も企画予定です。

### ・イベント情報

2ヶ月1度以上の研究会開催。毎年全国大会で発表予定。

・参加申し込み先: [jssmprivacy@gmail.com](mailto:jssmprivacy@gmail.com)

主査  
力 利則

幹事  
昆 資之



## 8-3. 先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会

### ・活動概要

先端技術・情報犯罪とセキュリティ研究会では、情報通信の先端技術をめぐるセキュリティ問題全般をカバーするホットな話題をとりあげた定例研究会を開催しています。実行委員一同皆さまのご参加をお待ちしています。是非、ご参加ください。



主査  
萩原 栄幸

### ・キーワード

先端技術、情報犯罪、セキュリティ

### ・イベント情報

原則として毎月第3金曜日の午後6時半から8時まで研究会を開催しています

・参加申し込み先: [jssm.sentan@gmail.com](mailto:jssm.sentan@gmail.com)

### 幹事

芦野 佑樹  
齋藤 忠和  
橋本 純生

## 8-4. 環境マネジメント研究会

### ・活動概要

当研究会は「温暖化や身近な環境問題、環境・安全に係わるリスク、製造・製品に係わる環境・安全の問題など」幅広いテーマを取り上げ研究している。外部パネラーおよび研究会メンバーによる講演・討論を中心とした研究会を開催している。

現在まで145回を重ねている。 積極的な参加を期待！

□ 主なテーマ:「環境経営・環境効率・環境会計・CSV経営」、「CSR等報告書の課題」「リスク管理、特に事故不祥事防止に向けた取り組み」、「社会インフラの劣化に伴う課題」「自然災害に係る緊急時の対応・土砂災害への対応」「気候変動に係る課題・再生エネルギー」「食料問題」「プラスチックの環境汚染問題」等について積極的に取り上げ、それぞれの課題の進展に寄与していきたい。

### ・イベント情報

隔月第3火曜日とするが、変更あり(HP開催案内に記載)18時～

開催場所: 日本環境認証機構(JACO本社403会議室)

東京都港区赤坂2-2-19(アドレスビル)

懇親会にも参加ください。 20時～

・参加申し込み先: [iouchi@kamakuranet.ne.jp](mailto:iouchi@kamakuranet.ne.jp)



主査 岡田政紀



幹事 一村義夫



幹事 大内 功

## 8-5. 関西支部研究会

### ・活動概要

関西地区を拠点とした研究会です。活動の多くは、他学会の関西支部との共催になっています。他地区の方や非会員の方でも、講演のテーマに興味ある方は歓迎します。

### ・キーワード

①情報システム ②モノづくり ③経営(戦略)

### ・イベント情報

年3回程度(6月, 11月, 2月)の開催予定で、日時はその都度調整します。場所は大阪駅周辺の施設が中心です。

・参加申し込み先: [masatsugu.shiihara@oit.ac.jp](mailto:masatsugu.shiihara@oit.ac.jp)  
@は半角にしてください。



幹事  
椎原正次  
大阪工業大学

## 8-＊. IT統制研究会

### ・活動概要

IoT分野におけるサイバーセキュリティに関する研究について、主に、サイバーフィジカルシステムにおけるIT統制、クラウドシステム等の安全な利用のための基盤技術となる暗号技術の社会的利用に関する研究を行っています。

### ・キーワード

IT統制、暗号・認証技術、サイバーフィジカルセキュリティ

### ・最近のイベント情報

原則として毎月第1水曜日の午後7時から9時まで研究会を開催しています。  
開催場所は主として中央大学後楽園キャンパスです。

・参加申し込み先：事務局([office@jssm.net](mailto:office@jssm.net))にお問い合わせください。



主査

藤田 亮



幹事

澤田 栄浩



## 8-7. ITリスク学会

### ・活動概要

社会のITシステム依存度が増大し、安全性向上の要求がますます高まっており、リスク対策が別のリスクを引き起こす「リスク対リスク(多重リスク)」の時代への対応が必要です。そこで、従来のセキュリティ技術の枠組みにとらわれず、プライバシーやリライアビリティ、ユーザビリティなど種々の指標を考慮して適切な対応を可能にするITリスク学について研究を進めています。

### ・キーワード

ITリスクマネジメント、ITリスク・コミュニケーション、ITリスク評価、ITリスク対策技術、危機管理、セキュリティとAI

### ・イベント情報

年に3～4回程度、研究会を開催しています。

### ・参加申し込み先: [it-risk@jssm.net](mailto:it-risk@jssm.net)



主査: 佐々木 良一



幹事: 千葉 寛之



幹事: 相羽 律子



幹事: 金子 朋子

## 8-8. 情報セキュリティ会計研究会

### ・活動概要

本研究会が考える「情報セキュリティ会計」とは、企業経営における情報セキュリティの影響を、経営者が理解し的確な意思決定に用いることができる枠組みであり、企業内外の利害関係者とのコミュニケーションに用いることができる枠組みでもあります。

この研究会では、幅広いテーマに取り組んでいます。

- ①情報セキュリティ会計の具体的な枠組みを提案し、
- ②実企業に適用して有効性を検証する、
- ③企業経営と情報セキュリティの関係のとらえ方、さらに、
- ④経営者視点でのサイバーセキュリティリスク把握方法、
- ⑤組織におけるガバナンスやマネジメントの有効性測定、
- ⑥セキュリティ・マネジメントの有効性に関する組織的要因の分析、等

論文執筆などにこれからも取り組んでいきたいと考えています。この分野にご関心をお持ちの皆様、ともに研究をしたいとお考えの方々、研究成果を利用したいという方々のご参加をお待ちしています。

・イベント情報: おおむね2か月に1回程度の研究会の開催を予定

・参加申し込み先: [insar.inq@jssm.net](mailto:insar.inq@jssm.net)



主査 大木 榮二郎



幹事 清水 恵子



幹事 田村 仁一

## 9. 会員の特典及び入会の勧め

1. 本会の学会誌に論文を投稿することができます。
2. 本会主催の学術講演会、研究会などに参加し、研究を発表することができます。
3. 本会の機関誌、論文集などが毎号無料で配布されます他、優先して本会発行の出版物の頒布を受けることができます。
4. 本会主催の各種行事に参加することができます。
5. 意義ある学会活動をご理解戴き、ご入会くださるよう衷心よりおすすめ致します。

# 10. 会員資格

## 1. 正会員

正会員は、本会の目的に賛同して入会した個人です。入会には正会員2名以上の推薦が必要です。推薦者に心当たりのない場合は事務局にご相談ください。

## 2. 学生会員

学生会員は、本会の目的に賛同して入会した、大学、大学院またはこれに準ずる学校に在学する個人です。入会には正会員2名以上の推薦が必要です。推薦者に心当たりのない場合は事務局にご相談ください。

## 3. 賛助会員

賛助会員は、本会の目的および事業を賛助するために入会した団体です。入会には役員(会長、副会長、専務理事、執行理事、理事、監事)1名以上の推薦が必要です。推薦者に心当たりのない場合は事務局にご相談ください。

# 11. 入会手続き

入会を希望される方は、JSSMマイページの「新規ユーザ登録」からユーザ情報の入力を行い、登録を完了してください。登録完了後、会員IDとパスワードを発行いたします。後日、改めて事務局からご連絡をいたします。

事務局からのご連絡の後、発行された会員IDとパスワードを使ってJSSMマイページにアクセスしてください。JSSMマイページがご用意する支払手段をお選びいただき、入会金と年会費の合計額のお支払いをお願いいたします。お支払いの完了をもって、会員として登録されます。

| 会員種類 | 年会費                  | 入会金    |
|------|----------------------|--------|
| 正会員  | 9,000円               | 1,000円 |
| 学生会員 | 1,000円               | 不要     |
| 賛助会員 | 1口以上<br>(1口 50,000円) | 不要     |

正会員もしくは学生会員が、11月以降に入会する場合は、初年度の年会費を半額とし、年が明けて1月から3月までの入会者については、当該初年度の年会費を免除します。

## 入会申し込み先

JSSMマイページ

URL <https://c2.members-support.jp/jssm/Login>

## 問い合わせ先

JSSMマイページ

URL <https://c2.members-support.jp/jssm/InquiryForms>

E-MAIL [office@jssm.net](mailto:office@jssm.net)

## 郵送先

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-8-1 MBE611

一般社団法人 日本セキュリティ・マネジメント学会

## ホームページ

URL <http://www.jssm.net>